

ニッキンセミナー『事例に学ぶ、金融機関のセキュリティ対策』を講演

株式会社大宣システムサービス（以降、dss 所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長：大嶋芳明）の執行役員 石橋正彦が、2017年2月16日 ニッキンセミナー（備考1参照）基調講演にて『事例に学ぶ、金融機関のセキュリティ対策』を講演しました。

dss では、取締役管理本部長 佐藤睦を中心に 2011年より『情報セキュリティ・コンサルティング』を開始しておりましたが、今後の IT 戦略（ゆくべき方向性）を明確化するために、2016年7月より IT サービス開発を設立し、リサーチ&コンサルティングのビジネスも開始しました。本セミナーでは、最近の金融機関へのリサーチ活動の中で得た、FinTech（備考1参照）、IoT セキュリティ（備考2参照）、ビッグデータ解析等を提言するために、これまで金融機関が実装したセキュリティ製品やサービスの事例を分析しております。基調講演で石橋は、『FinTech/IoT など新しいテクノロジーが誕生し、採算重視のセキュリティ対策が重要/ベストプラクティスは企業ごとに異なり、まずは、全体を俯瞰して弱い部分から克服する』等のメッセージを発信しました。

備考1 ニッキンセミナー

日本金融通信社(ニッキン)が協力し、福岡銀行協会内で開催された日立製作所、日立ソリューションズ、エンカレッジ・テクノロジーが主催したセミナー。

金融機関のためのサイバーセキュリティ対策セミナー

基調講演『これまで国内の金融機関が構築したシステムに対して、どのようなセキュリティ対策が実装されていたのか。昨今では、ネットバンキング利用者などのコンシューマ向けセキュリティ対策も重要になりつつある。本セッションでは、具体的な事例より特権 ID 操作ログ管理/バイオメトリクス/エンドポイント・インテリジェンス/VDI/リスクベース認証/サンドボックスなどの動向を解説する』

備考2 FinTech (Financial Technology)

ITテクノロジーを駆使し金融サービスを開発することにより、これまでのテクノロジーと ecosystem として共存し、合理的で採算を重視した新しいテクノロジーを生み出す動き

備考3 IoTセキュリティ

IoT (家電、防犯機器、自動車、医療機器、事務機器、産業機器など) 200 億を超える様々な「モノ」がつながる「モノのインターネット (IoT)」が形成され、その「モノ」のリスク低減や可用性/脆弱性を考慮した新たなセキュリティ対策。利便性や収益を重視したい IoT 提供側と安全安心として利用したい利用者側のニーズを相互に取り入れたプログラムである



出典 : dss (2017年2月)